

向日市・江戸時代から続く(築280年)の旅籠

富永屋を残したい！

緊急
署名開始

豊臣秀吉や徳川慶喜が休憩、伊能忠敬が宿泊

西国街道に面した「富永屋」は、貴重な歴史・文化的建造物であり、かつ、コミュニティー・文化活動の拠点でした。5連の黒漆喰の「おくどさん(かまど)」は珍しく、今でもご飯を炊いたり料理をしたりすることが可能です。今まで、多くのイベントが行われたり、地域の子どもたちの、社会学習の場としても利用されてきました。

現在、建物の老朽化・破損が進んだこと、修繕・保存に関する公的補助がないことによる負担、所有者の高齢などを理由に、取り壊しが検討されています。



向日市にお願い(請願)します

富永屋の修復・存続・活用を！

- 老朽化・損傷の激しい富永屋に対して、屋根・壁などの緊急修繕を行って下さい。
- 富永屋を「登録有形文化財」として国に登録申請する手続きを行って下さい。
- 富永屋を地域の宝として、存続・活用のための最大限の努力をして下さい。



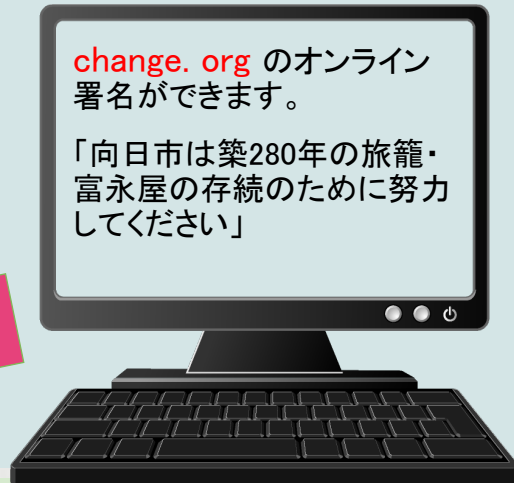
2020/02/15までに
できるだけ多くの声を



署名はインターネットでも！

change.org のオンライン
署名ができます。

「向日市は築280年の旅籠・
富永屋の存続のために努力
してください」



署名は用紙でも！
お渡しできます。ダウンロードもできます。

「むこうまち・西国街道の未来を考える会」
ホームページ

<https://mukomirai48.wixsite.com/website>

またはFacebookを検索してください。

メール mukomirai48@gmail.com

電話 安井: 090-3718-3356

寺崎: 090-5906-8445

